



凡例

- 雪崩危険箇所 (I)
I-○○: 箇所の種類と番号
- 主たる雪崩経路
- 基準点
- 雪崩危険箇所 (II)
II-○○: 箇所の種類と番号
- 主たる雪崩経路
- 基準点
- 過去の雪崩発生経路
- 地域防災計画に位置づけられる避難場所、避難経路等

●21.7 水準点 ●1.25 (ないもの)

建 物 (小) (大) 立体交差
中高層 建物 (大) 墓地
中高層建築地 道路の分離帯等
温泉・湯治場等 樹木に囲まれた居住地
タラシ (地) 空

比高、水深、水測、水門、堰、ダム、倉下の水路、流水方向、渡し船、水門

湿地、砂れき地、干がた、小砂子地、がけ(土)、岩、防波堤、護岸、埋り、隠顕岩、万年雪

1. 投影はユニバーサル横メルカトル図法、座標帯は第53帯、中央子午線は東経135°
2. 右上の数字は地域メッシュコード
3. 図郭に付した短線は黒が経緯度差1分ごとの目盛、青(経緯度目盛と重複する場合は黒)が基準地域メッシュの目盛
4. 高さの基準は東京湾の平均海面、等高線の間隔は10メートル
5. 磁針方位は西偏約7°0'
6. 図式は昭和61年1:25,000地形図式

行政区画 索引図

行政区画		索引図	
44.95cm		笠ヶ岳	穂高岳
37.00cm		焼岳	波田
45.00cm		乗鞍岳	梓湖
			古見

長野県 A. 南安曇郡 安曇村